



古文孝經國譯

□ 12
6



仁
門
卷
991



國譯古文孝經序

孔安國所傳孝經春臺先生音之兼山先生標註之二先生之功不亦偉乎哉雖然所以海內之人子自非經生目不見孝經者固坐不知漢字故耳余今以國字譯其經文庶歛使識伊呂波者普讀之盡以事親之道也知其謬解者俟君子之是正矣

寬政元年己酉冬十一月東都松本廉安

明治三年
六月十九日
購

謹撰於山形城中好古齋

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

古文孝經

東都 梧園松本庵安譯

開宗明誼章第一

[Small vertical text in cursive script, likely a commentary or preface]

仲尼問居曾子侍坐

[Small vertical text in cursive script, likely a commentary or preface]

子曰參先王有至德要道以訓天下

[Small vertical text on the left margin]

此の如きは、
みちよきとて、
うのものも、

民用和睦上下之怨女知之乎

志よきんしんがたが、いよむいあ、くか、ま、み、ち、あ、ご、の、ふ、か、い、く、が、
で、さ、か、ん、ご、ん、と、あ、の、い、よ、の、い、は、お、れ、た、し、ち、い、ち、や、つ、れ、だ、

曾子辟席曰參不敏何足以知之乎

うし、く、の、さ、と、う、び、む、つ、つ、あ、い、さ、り、す、こ、こ、こ、
ぶ、け、く、う、つ、く、う、つ、く、う、つ、く、う、つ、く、う、つ、く、う、つ、く、
こ、ら、く、う、つ、く、う、つ、く、う、つ、く、う、つ、く、う、つ、く、

子曰夫孝德之本也教之所繇生也

こ、う、れ、お、い、ち、や、ふ、こ、う、り、か、り、の、志、い、が、す、ら、に、
あ、こ、い、お、き、あ、る、こ、だ、い、で、あ、い、あ、い、い、い、い、い、い、い、い、い、
て、い、い、い、い、い、

復坐吾語女

こ、う、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

身體髮膚受之父母不敢毀傷孝之始也

こ、う、し、ち、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、
あ、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

立身行道揚名於後世以顯父母孝之終也

わ、が、こ、と、か、り、く、で、い、い、あ、な、い、ま、り、せ、ま、い、あ、い、い、い、い、い、い、
を、や、の、き、ほ、を、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

夫孝始於事親中於事君終於立身

夫孝始於事親中於事君終於立身
夫孝始於事親中於事君終於立身
夫孝始於事親中於事君終於立身

大雅云之念爾祖聿脩其德

大雅云之念爾祖聿脩其德
大雅云之念爾祖聿脩其德
大雅云之念爾祖聿脩其德

天子章第二

天子章第二
天子章第二
天子章第二

子曰愛親者不敢惡於人

子曰愛親者不敢惡於人
子曰愛親者不敢惡於人
子曰愛親者不敢惡於人

敬親者不敢慢於人

敬親者不敢慢於人
敬親者不敢慢於人
敬親者不敢慢於人

愛敬盡於事親然後德教加於百姓刑於四海

愛敬盡於事親然後德教加於百姓刑於四海
愛敬盡於事親然後德教加於百姓刑於四海
愛敬盡於事親然後德教加於百姓刑於四海

蓋天子之孝也

詩云戰戰兢兢如臨深淵如履薄冰

卿大夫章第四

子曰非先王之法服不敢服

子曰非先王之法服不敢服

子曰非先王之法服不敢服

非先王之德言不敢道

非先王之德行不敢行

是故非法不言非道不行

口亡擇言身亡擇行

いつてよ、あつてもちつていふこゝろなまじり
 こゝろすらすらとこゝろにあらがでな
 言満天下亡口過行満天下亡怨惡
 いひだすほのめがせあぢうひらかきよひ
 まらうこゝろいひますまぢのめがせあぢ
 だもてもこゝろいひていひ

三者備矣然後能保其祿位而守其宗廟蓋卿
 大夫之孝也

みづのそぢりりつてつてみづのそぢりり
 きやうくちつてつてつてつてつてつて
 つてつてつてつてつてつてつてつて
 つてつてつてつてつてつてつてつて

詩云夙夜匪解以事一人

ちぎやうにちうごんほがえのちうごんほがえ
 ちうやうにちうごんほがえのちうごんほがえ
 あつてつてつてつてつてつてつてつて

士章第五

さむらいめがうくをちぎやうにちうごんほがえ
 つてつてつてつてつてつてつてつて

子曰資於事父以事母其愛同

ちうごんほがえのちうごんほがえのちうごんほがえ
 あつてつてつてつてつてつてつてつて
 つてつてつてつてつてつてつてつて

資於事父以事君其敬同

資於事父以事君其敬同
資於事父以事君其敬同
資於事父以事君其敬同

故母取其愛而君取其敬兼之者父也

故母取其愛而君取其敬兼之者父也
故母取其愛而君取其敬兼之者父也
故母取其愛而君取其敬兼之者父也

故以孝事君則忠

故以孝事君則忠
故以孝事君則忠
故以孝事君則忠

以弟事長則順

以弟事長則順
以弟事長則順
以弟事長則順

忠順不失以事其上然後能保其爵祿而守其祭

祀蓋士之孝也

忠順不失以事其上然後能保其爵祿而守其祭
忠順不失以事其上然後能保其爵祿而守其祭
忠順不失以事其上然後能保其爵祿而守其祭

詩云夙興夜寐亡忝爾所生

詩云夙興夜寐亡忝爾所生
詩云夙興夜寐亡忝爾所生
詩云夙興夜寐亡忝爾所生

庶人章第六

世宗孝經卷之三
七
へいふんのかうくわんをもちまはしむるに
むくひをせしむるや

子曰因天之時就地之利

ちんぎのちゆんをもちまはしむるに
ぬんぢうあせうひよちうくわんせき

謹身節用以養父母此庶人之孝也

みまらむをたうかまひしむるに
をまごくもあへいんかうくわんせき

孝平章第七

たうぬもひくへいんかうくわんせき
たうくわんせき

子曰故自天子以下至於庶人

こうしこれかちやふんせき
こうしこれかちやふんせき

孝亡終始而患不及者未之有也

ちんぎのちゆんをもちまはしむるに
ちんぎのちゆんをもちまはしむるに

三才章第八

あうくわんせき
あうくわんせき

曾子曰甚哉孝之大也

そうしが
そうしが

あうくわんせき
あうくわんせき

子曰夫孝天之經也地之誼也民之行也

夫孝者天之經也地之誼也民之行也
夫孝者天之經也地之誼也民之行也
夫孝者天之經也地之誼也民之行也

天地之經而民是則之

天地之經而民是則之
天地之經而民是則之
天地之經而民是則之

則天之明因地之利以訓天下

則天之明因地之利以訓天下
則天之明因地之利以訓天下
則天之明因地之利以訓天下

是以其教不肅而成其政不嚴而治

是以其教不肅而成其政不嚴而治
是以其教不肅而成其政不嚴而治
是以其教不肅而成其政不嚴而治

先王見教之可以化民也

先王見教之可以化民也
先王見教之可以化民也
先王見教之可以化民也

是故先之以博愛而民莫遺其親

是故先之以博愛而民莫遺其親
是故先之以博愛而民莫遺其親
是故先之以博愛而民莫遺其親

陳之以德誼而民興行

うけることや

是以天下和平災害不生禍亂不作

乃以天下之孝治天下也如此

故明王之以孝治天下也如此

詩云有覺德行四國順之

詩云有覺德行四國順之

曾子曰敢問聖人之德

聖治章第十

聖治章第十

曾子曰敢問聖人之德

子曰天地之性人為貴

人之行莫大於孝

子曰天地之性人為貴

人之行莫大於孝

うでかりくけいすまのあつていふ

孝莫大於嚴父嚴父莫大於配天則周公其人

孝莫大於嚴父嚴父莫大於配天則周公其人也
かろくれたふくこいぶんのをやはらぐすまきつてい
なまじらん乃わやをかくすまきつていんこいんこい
どのよししてまつるやふすまきつていんこいんこい
こいんこいんこいんこいんこいんこいんこいんこい

昔者周公郊祀后稷以配天

むしちうこうがきれんこいんこいんこいんこいんこい
んこいんこいんこいんこいんこいんこいんこいんこい

宗祀文王於明堂以配上帝

いんこいんこいんこいんこいんこいんこいんこいんこい
んこいんこいんこいんこいんこいんこいんこいんこい

是以四海之内各以其職來助祭夫聖人之德又何

以加於孝乎

これゆへせのちのちよだんこいんこいんこいんこいんこい
ぢようけてささるをづれていんこいんこいんこいんこい
こいんこいんこいんこいんこいんこいんこいんこいんこい
あかぶしあつていんこいんこいんこいんこいんこいんこい

是故親生毓之以養父母曰嚴

こいんこいんこいんこいんこいんこいんこいんこいんこい
かめさかたつていんこいんこいんこいんこいんこいんこい
こいんこいんこいんこいんこいんこいんこいんこいんこい

聖人因嚴以教敬因親以教愛

子曰不愛其親而愛他人者謂之悖德不敬其親而敬他人者謂之悖禮

子しのおのちやふふまにちんをばやまふに
あつたしんばいぢらるるまらるるまらるる
らやばあめぬくせうだんをあらはしむる
まいりふとや

以訓則昏民亡則焉

これぞいふまにんばあしんく
くらもちあひりあつたしんばいぢらるる
不宅於善而皆在於凶德

よこまにんばあしんくはまらるるまらるる
まらるるまらるるまらるる

雖得志君子弗從也

これぞいふまにんばあしんく
まらるるまらるるまらるる

君子則不然

しんばあしんくまらるるまらるる

言思可道行思可樂

まらるるまらるるまらるるまらるる
まらるるまらるるまらるる

德誼可導作事可法

まらるるまらるるまらるるまらるる
まらるるまらるるまらるる

敬一人而千萬人說

ておやうあまうちうたりてひりてあがらるるは
しれむのこやねむらうあらいがすうぶあうきねぬ
所敬者寡而說者衆此之謂要道也

あまらあまうちやうあまうちうたりてひりてあがらるるは
いらいれむのこやねむらうあらいがすうぶあうきねぬ

廣至德章第十六

よいぬのりてふんかむ成るびりてあがらるるは
おいぬのりてふんかむ成るびりてあがらるるは

子曰君子之教以孝也非家至而日見之也

こりこれちりちやあまうちうたりてひりてあがらるるは
かりこれちりちやあまうちうたりてひりてあがらるるは

あんくまらうちうたりてひりてあがらるるは
あんくまらうちうたりてひりてあがらるるは

教以孝所以敬天下之為人父者也

かうくまらうちうたりてひりてあがらるるは
かうくまらうちうたりてひりてあがらるるは

教以弟所以敬天下之為人兄者也

あへあまうちうたりてひりてあがらるるは
あへあまうちうたりてひりてあがらるるは

教以臣所以敬天下之為人君者也

あらいぬのりてふんかむ成るびりてあがらるるは
あらいぬのりてふんかむ成るびりてあがらるるは

詩云愷悌君子民之父母

きさやうにきよしんをひきみらるるまはらひはれおほの
をきめしうまもるるちよんをあんしんちかうし
しきよたごびしひかひしきぬれごきよんか
しきかもしししししししししししししししし
しししししししししししししししししししし

非至德其孰能訓民如此其大者乎

ふしごまよるるまはらひはれおほの
をきめしうまもるるちよんをあんしんちかうし
しきよたごびししししししししししししししし
ししししししししししししししししししししし

應感章第十七

かうていよすれごまのまはらひはれおほの
をきめしうまもるるちよんをあんしんちかうし
しきよたごびししししししししししししししし

子曰昔者明王事天孝故事天明事母孝故事地

察

こいしはちのまはらひはれおほの
をきめしうまもるるちよんをあんしんちかうし
しきよたごびししししししししししししししし
ししししししししししししししししししししし

長幼順故上下治

天地明察鬼神章矣

天地明察鬼神章矣

故雖天子必有尊也言有父也必有先也言有兄也必有長也

故雖天子必有尊也言有父也必有先也言有兄也必有長也

也

也

宗廟致敬不忘親也脩身慎行恐辱先也

宗廟致敬不忘親也脩身慎行恐辱先也

宗廟致敬鬼神著矣

宗廟致敬鬼神著矣

孝弟之至通於神明光於四海亡所不暨

雖亡道不失其國

雖亡道不失其國 雖亡道不失其國 雖亡道不失其國

大夫有爭臣三人

大夫有爭臣三人 大夫有爭臣三人 大夫有爭臣三人

雖亡道不失其家

雖亡道不失其家 雖亡道不失其家 雖亡道不失其家

士有爭友則身不離於令名

士有爭友則身不離於令名 士有爭友則身不離於令名 士有爭友則身不離於令名

あしとちい

父有爭子則身不陷於不誼

父有爭子則身不陷於不誼 父有爭子則身不陷於不誼 父有爭子則身不陷於不誼

故當不誼則子不可以不爭於父

故當不誼則子不可以不爭於父 故當不誼則子不可以不爭於父 故當不誼則子不可以不爭於父

臣不可以不爭於君

臣不可以不爭於君 臣不可以不爭於君 臣不可以不爭於君

故當不誼則爭之從父之命又安得為孝乎

事君章第二十一
子之於君也
猶天之於地也
地無所不覆
天無所不覆
君無所不覆
臣無所不覆
君之於臣也
猶天之於地也
地無所不覆
天無所不覆
君無所不覆
臣無所不覆

事君章第二十一

子之於君也猶天之於地也地無所不覆天無所不覆君無所不覆臣無所不覆

子曰君子之事上也

如日之升如月之恒如天之不可階也如地之不可陷也

進思盡忠退思補過

進思盡忠退思補過
進思盡忠退思補過
進思盡忠退思補過
進思盡忠退思補過

將順其美匡救其惡

將順其美匡救其惡
將順其美匡救其惡
將順其美匡救其惡
將順其美匡救其惡

故上下能相親也

故上下能相親也
故上下能相親也
故上下能相親也
故上下能相親也

詩云心乎愛矣遐不謂矣

詩云心乎愛矣遐不謂矣
詩云心乎愛矣遐不謂矣
詩云心乎愛矣遐不謂矣
詩云心乎愛矣遐不謂矣

忠之何日忘之

忠之何日忘之
忠之何日忘之
忠之何日忘之
忠之何日忘之

生事愛敬死事哀戚

生民之本盡矣

死生之誼備矣

孝子之事終矣

孝經終

寛政元年己酉十一月

門人藏版



Handwritten text in the right margin, possibly a page number or title.



門入藏版

寫於...

Main body of text within a rectangular border, consisting of several vertical columns of characters.

Handwritten characters at the bottom right, possibly a signature or date.

Handwritten characters in the top left area of the page.

Handwritten characters in the middle left area of the page.

Handwritten characters in the bottom left area of the page.

